

訓子府町



戦前から親子四代続く養蜂農家です！



訓子府町市街地の店舗内部



ハチミツ酒ミード



石けんなどのハチミツ製品

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体 株式会社 菅野養蜂場 【訓子府町】

こだわり続けて80年、ミツバチとともに

【はじめは？】

福島県から北海道へ移住した菅野安太郎が、昭和9年農業の副業として養蜂を開始。次男の儀蔵が本格的に養蜂を学び、戦争から帰還後、二代目として昭和21年に独立。三代目の富二は鹿児島県の養蜂家に従事し、その後昭和48年に二代目より事業を承継。問屋への卸しから小売りへ転換し、天然ハチミツの生産と販売を行い、平成26年に株式会社を設立。民間企業からUターンした四代目裕隆が加わり、親子四代にわたる養蜂を80年以上続けています。



安全・安心な天然ハチミツ

【おもな活動】

恵まれたオホーツクの自然環境を利用し、季節に応じて蜂場を工夫することにより様々な蜜を採蜜し、製品となった蜂蜜は「農薬不検出」の検査結果を得ています。また、安心・安全な「天然ハチミツ」にこだわり、ミツバチの健康状態に常に注意を払い、抗生物質不使用による養蜂を実現しています。

さらに、地域交流事業として、地元の小中、高校や、留辺蘂高校等での養蜂実習など、養蜂をとおした地域環境学習に取り組んでいます。



ワークショップなどの地域交流事業

【ここが自慢】

戦前から四代にわたり「ハチ屋」を続けています。ミツバチに抗生物質を一切与えず健康なハチを育て、自然に自生する花から蜜を集め、良質なハチミツを皆様に届けることをモットーにハチ作りに取り組んでいます。

40年以上前から、地域交流事業として積極的に養蜂を通じた人の交流にも取り組んでいます。平成12年からは、町内の小学校で養蜂授業を実施し、子どもたちだけではなく、保護者や地域の皆さんにも養蜂学習の意義をご理解いただいています。

また、訓子府町の特産物のメロンは、栽培が始まった50年前からそのほとんどが当養蜂場のミツバチによる受粉を利用しており、地域特産物の生産にも貢献しています。



養蜂学習の取組

連絡先

代表者名：前崎幸男さん／設立：H26年／会員：4名

住所：常呂郡訓子府町仲町34番地

電話番号：0157-47-4397

F A X：0157-57-4198

E-mail：info@honeyfarm-kanno.com

URL：http://honeyfarm-kanno.com/